

令和元年度（第7回）

国臨協関信支部東京地区会定期総会 議案書



令和2年10月31日（土）に開催予定していました「令和元年度（第7回）国立病院臨床検査技師協会関信支部東京地区会定期総会・研修会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。定期総会では、令和元年度経過報告及び会計報告、監査報告、令和2年度事業方針案、会計予算案などの案件を審議する予定でした。しかし、現状の社会情勢を鑑み、集合型開催を中止し臨時措置として「書面表決」の決議をもって承認を得ることに致しました。会員の皆様におかれましては、事情をご賢察の上、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【 令和元年度 東京地区会定期総会議案 】

1. 経過報告

- 1) 令和元年度 経過報告（事務局）
- 2) 令和元年度 会計報告
- 3) 令和元年度 会計監査報告

2. 議案審議

- 1) 第 1 号議案 令和 2 年度事業方針（案）
- 2) 第 2 号議案 令和 2 年度会計予算（案）
- 3) 第 3 号議案 国立病院臨床検査技師協会関信支部東京地区会規約改定（案）
- 4) 令和 2 年度役員選出（案）

令和元年度 経過報告

今年度の東京地区会活動は、会員の学術研鑽及び施設相互の交流や親睦を図るため、令和元年度の事業方針に基づき会務・活動を考え努めてまいりました。

文化活動として、昨年同様「昭和の森ガーデン CAFE&BBQ」でバーベキュー開催を企画し、準備を整えて参りましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により中止の運びとなりましたことをお詫び申し上げます。

広報活動は、第48回国臨協関信支部学会が集合型の学会を開催されなかったため、地区会活動コーナーでポスター展示を行うことができませんでした。

学術研鑽として、国立療養所多磨全生園での開催に向け、企画立案を行って参りましたが、現状の社会情勢を鑑み、集合型開催を中止し研修会開催を行うことができませんでした。

この他に国臨協関信支部主催地区会代表者会議に出席し、各地区会との情報交換などを行いました。
以上が今年度の活動経過報告ですが、これまで経験したことのない新型コロナウイルス感染症の影響で、十分な活動とはいえませんでした。今後の地区会の更なる発展のため皆様の忌憚のないご意見を頂き、活動に生かして行きたいと思いをします。

【事務局報告】

1. 令和元年度役員

会 長	上 條 敏 夫	(国立精神・神経医療研究センター病院)	
副会長	工 藤 元 記	(国立療養所多磨全生園)	R2 年 03 月 31 日まで
副会長	平 本 研 二	(国立療養所多磨全生園)	R2 年 04 月 01 日より
事務局長	橋 本 洋 二	(国立がん研究センター中央病院)	
理 事	中 山 諒 太	(NHO 災害医療センター)	
理 事	野 上 凌	(国立精神・神経医療研究センター病院)	
理 事	森 木 美 里	(NHO 東京病院)	
会計監査	竹 田 信 邦	(NHO 東京病院)	R2 年 03 月 31 日まで
会計監査	仲 間 盛 之	(NHO 東京病院)	R2 年 04 月 01 日より
会計監査	和 田 聡	(国立療養所多磨全生園)	
役員推薦委員長	山 崎 剛	(NHO 災害医療センター)	

2. 理事会開催

- | | | |
|----------|---|---------------|
| ① 第1回理事会 | 定期総会・研修会総括、平成30年度地区会年間計画について、理事引継ぎ
国立精神・神経医療研究センター病院 | 令和元年11月22日（金） |
| ② 第2回理事会 | 地区会文化交流会について、会計経過報告
NHO 東京病院 | 令和2年1月24日（金） |
| ③ 第3回理事会 | 地区会文化交流会開催の可否、地区会総会・研修会開催の予定について
各施設メール対応 | 令和2年5月18日（月） |
| ④ 第4回理事会 | 今年度地区会会費徴収の可否について、地区会総会・研修会開催の可否について
各施設メール対応 | 令和2年7月31日（金） |
| ⑤ 第5回理事会 | 今年度地区会総会議案集の確認について、地区会総会書面表決の対応について
各施設メール対応 | 令和2年10月9日（金） |

3. 受理文書（メールも含む）

- | | | |
|-------------------------------------|---------|-----------------|
| ① 東京地区会定期総会の出席について（お礼） | 国臨協関信支部 | 令和元年 10 月 28 日 |
| ② 国臨協関信支部ニュース 220 号原稿依頼「新年の挨拶」 | 国臨協関信支部 | 令和元年 11 月 1 日 |
| ③ 国臨協関信支部ニュース 220 号原稿（お礼） | 国臨協関信支部 | 令和元年 11 月 15 日 |
| ④ 令和元年度国臨協関信支部地区代表者会議の開催について（ご連絡） | 国臨協関信支部 | 令和元年 11 月 25 日 |
| ⑤ 国立病院臨床検査技師協会関信支部被表彰者（支部表彰）の推薦について | 国臨協関信支部 | 令和 2 年 6 月 17 日 |

4. 発刊文書（メールを含む）

- | | | |
|------------------|--|-----------------|
| ① 国臨協関信東京発第 1 号 | 東京地区会研修会・定期総会臨床検査専門職ご臨席の御礼）
国立病院機構関東信越グループ 総括長宛 | 令和元年 10 月 28 日 |
| ② 国臨協関信東京発第 2 号 | 東京地区会研修会講師・定期総会出席御礼
国立病院機構関東信越グループ
医療担当 臨床検査専門職宛 | 令和元年 10 月 28 日 |
| ③ 国臨協関信東京発第 3 号 | 東京地区会研修会・定期総会出席御礼
国臨協関信支部 支部長宛 | 令和元年 10 月 28 日 |
| ④ 国臨協関信東京発第 4 号 | 東京地区会役員退任について（お礼）
退任役員、施設技師長宛 | 令和元年 10 月 28 日 |
| ⑤ 国臨協関信東京発第 5 号 | 東京地区会役員・委員の委嘱について（ご依頼）
東京地区会役員・委員 施設技師長宛 | 令和元年 10 月 28 日 |
| ⑥ 国臨協関信東京発第 6 号 | 第 1 回東京地区会理事会への理事出席依頼について
東京地区会技師長宛 | 令和元年 11 月 11 日 |
| ⑦ 国臨協関信東京発第 7 号 | 第 2 回東京地区会理事会への理事出席依頼について
東京地区会技師長宛 | 令和 2 年 1 月 10 日 |
| ⑧ 国臨協関信東京発第 8 号 | 令和元年度 地区会文化交流会中止について
東京地区会技師長宛 | 令和 2 年 5 月 22 日 |
| ⑨ 国臨協関信東京発第 9 号 | 令和元年度東京地区会 会費納入ならびに定期総会・研修会について
東京地区会会員宛 | 令和 2 年 8 月 21 日 |
| ⑩ 国臨協関信東京発第 10 号 | 東京地区会会計監査について（ご依頼）
会計監査担当役員宛 | 令和 2 年 9 月 25 日 |

5. 関連団体との連携

1) 令和元年度関信支部地区代表者会議

日 時：令和 2 年 1 月 18 日（土） 13:30~17:00

場 所：国立がん研究センター中央病院 管理棟 1 階 会議室 A

出 席：東京地区会会長 上條 敏夫

6. 広報活動報告

1) 関信支部ニュース第 220 号投稿（令和 2 年 1 月発行）

「新年を迎えて」

上條 敏夫 会長（国立精神・神経医療研究センター病院）

令和元年度 会計報告

会 計 報 告

(自：令和元年 10 月 1 日～至：令和 2 年 9 月 30 日)

【収入の部】

項 目	令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	差 異	備 考
前年度繰越金	187,768	187,768	0	
会費	127,000	0	▲127,000	
関信支部助成金	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
関信支部補助金	0	18,000	18,000	
合 計	314,768	205,768	▲109,000	

【支出の部】

項 目	令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	差 異	備 考
事務費	10,000	0	10,000	文房具等
会議費	40,000	15,289	24,711	理事会日当等
行動費	50,000	22,020	27,980	理事会交通費
研修会費	80,000	60,992	19,008	総会研修会費
福利厚生費	70,000	37,500	32,500	交流会補助費
予備費	64,768	0	64,768	
合 計	314,768	135,801	178,967	

$$\begin{array}{rcl} \text{収入} & - & \text{支出} & = & \text{次年度繰越金} \\ 205,768 & - & 135,801 & = & 69,967 \end{array}$$

差異額の記載方法は、「予算」から「決算」の金額を差し引き、その差額がマイナスの時▲を付けて表示しています。

会計担当理事 国立精神・神経医療研究センター病院 野上 凌

会計監査報告

国臨協関信支部東京地区会
会 長 上條 敏夫 殿

私たちは、令和元年度国臨協関信支部東京地区会の会計監査を実施したので、
次のとおり報告いたします。

1. 監査日時 令和2年9月29日14時00分から
2. 監査場所 NHO 東京病院
国立療養所多磨全生園
3. 監査内容 令和元年度会計（令和元年10月1日～令和2年9月30日）の
処理状況
4. 講 評 監査の結果、会計の予算執行は適正であり、収支台帳をはじめ証
拠書類、現金管理等適正に保管処理されていることを認めます。

令和2年9月29日

会計監査
会計監査

仲間 盛之
和田 聡



第 1 号議案

令和 2 年度事業方針（案）

新元号が令和と変わり、時代の変化とともに少子高齢化をはじめ医療の高度化・多様化など、医療を取り巻く環境が大きく変化しています。このような環境下で、臨床検査部門においては検査に関わる重要なデータを提供する側として、ますますその重要性が増しています。2018 年 12 月に施行された医療法の一部を改正する法律により、検体検査の品質・精度確保の基準が定められ、責任者の配置や各種標準作業書・日誌等の作成が課されています。

また、2019 年 4 月から働き方改革関連法が順次施行され、時間外労働の上限規制の導入や年次有給休暇の確実な取得、正規・非正規雇用労働者間の不合理な待遇差の是正も求められ、長時間労働をなくし年次休暇を取得しやすくすることなどにより、ワーク・ライフ・バランスを実現する制度もつくられました。

さらに、この社会環境の変化が著しい最中、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により日々の生活をはじめ経済など様々な影響が現在まで続き、医療従事者として病原体検査等に大きく尽力していますが、社会全体の厳しい状況を打破するには、まだまだ時間がかかると言えます。

しかし、このような時でも臨床検査部門に携わる私たちは、前向きな意識による臨床検査技師としての更なる改革が求められており、将来を見据えた柔軟な考え方や対応、一人ひとりが切磋琢磨し、力を高めて協力し合い、医療を担う一員として責任ある行動に努めていく必要があると考えます。

本年度においても、東京地区会では様々な状況を踏まえ、会員の有益となるよう、情報交換や自己研鑽の場としての役割を果たし、会員相互の親睦や施設交流を深めて、会員とともに地区会の更なる発展に繋がるよう以下を提案します。

1. 交流会の開催

5 月～7 月に新人歓迎会を兼ねた交流会を開催し施設間の親睦・懇親を図り、情報交換の場とする。

2. 研修会の開催

定期総会に併せ会員の知識・技術向上に繋がる場として研修会を開催する。

3. 定期総会の開催

10 月最終土曜日に開催し、次年度活動方針など提案する。

4. 理事会の開催

年に 5～6 回開催し、会のスムーズな運営を図る。

5. 国臨協関信支部学会地区会ポスター展示への参加

国臨協関信支部学会の地区会コーナーで地区会の紹介などポスター展示する。

6. 地区会活動を支部ニュースへ投稿及び HP へ掲載などの広報活動

地区会活動を支部ニュースへ投稿及び HP へ掲載する。

第 2 号議案

令和 2 年度予算（案）

（自：令和 2 年 10 月 1 日～至：令和 3 年 9 月 30 日）

【収入の部】

項 目	令和 2 年度 予算額	令和元年度 決算額	備 考
前年度繰越金	69,967	187,768	
会費	130,000	0	会員 130 名×1,000 円
関信支部補助金	0	18,000	
雑収入	0	0	
合 計	199,967	205,768	

【支出の部】

項 目	令和 2 年度 予算額	令和元年度 決算額	備 考
事務費	10,000	0	文房具等
会議費	30,000	15,289	理事会日当等
行動費	30,000	22,020	理事会交通費
研修会費	80,000	60,992	総会研修会費、講師料等
福利厚生費	40,000	37,500	交流会補助費
予備費	9,967	0	
合 計	199,967	135,801	

会計担当理事 国立精神・神経医療研究センター病院 野上 凌

第 3 号議案

国立病院臨床検査技師協会関信支部東京地区会規約改定（案）

	改正（案）	現行	備考
（会費及び会計） 第 10 条	4 災害等の想定外な事例が起こり会の運営に支障が生じた場合、理事会はその年度に限って会費の負担をなくすことや減額をすることができる。		追加
（附則）	令和 2 年 10 月 31 日一部改定		追加

令和 2 年度役員選出（案）

会長	ミネギシ 峰岸	マサアキ 正明	NHO 東京病院	技師長	新任
副会長	ヒラモト 平本	ケンジ 研二	国立療養所多磨全生園	副技師長	留任
事務局長	ハシモト 橋本	ヨウジ 洋二	国立がん研究センター中央病院	主任	留任
理事	ナカヤマ 中山	リョウタ 諒太	NHO 災害医療センター	技師	留任
理事	ノガミ 野上	リョウ 凌	国立精神・神経医療研究センター病院	技師	留任
理事	モリキ 森木	ミサト 美里	NHO 東京病院	技師	留任
会計監査	ウチカワ 内川	マサヒロ 正弘	国立精神・神経医療研究センター病院	副技師長	新任
会計監査	モチツキ 望月	ノリヒサ 規央	国立療養所多磨全生園	主任	新任
役員推薦委員長	ヤマザキ 山崎	タケシ 剛	NHO 災害医療センター	技師長	留任

国立病院臨床検査技師協会関信支部東京地区会規約

(名 称)

第 1 条 この会は、国立病院臨床検査技師協会関東信越地方支部東京地区会（略称、国臨協関信支部東京地区会）という。

(目 的)

第 2 条 この会は、会員の学術及び技能の向上と会員及び施設相互の交流、親睦を図ることを目的とする。

2 この会は、目的を達成するために、必要な事業を行う。

(事務局)

第 3 条 この会の事務局は、事務局長の勤務する施設内に置く。

(会 員)

第 4 条 この会は、NHO 東京病院、NHO 災害医療センター、国立がん研究センター中央病院、国立精神・神経医療研究センター病院、国立療養所多磨全生園等に勤務する検査科（部）職員によって構成する。

2 この会に入会するものは、会費を添え理事を経由して事務局に申し込むものとする。

(役 員)

第 5 条 この会に、次の役員を置く。

会長 1名（技師長）、副会長 1名、事務局長 1名、理事 3名、会計監査 2名、役員推薦委員長 1名

(役員の仕事)

第 6 条 役員の仕事は、次の通りとする。

- 1) 会長は、この会を代表し会務を総括する。
- 2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時はこれを代行する。
- 3) 事務局長は、事務局を総括し会務を執行する。
- 4) 理事は、会務（庶務、会計、広報、学術等）を担当する。
- 5) 会計監査は、本会の会計を監査し報告する。
- 6) 役員推薦委員長は、役員候補者名簿を作成し定期総会前に会長に通知する。

(役員の選出及び任期)

第 7 条 役員は、役員推薦委員長の推薦によって選出され、総会で承認を得るものとする。

- 2 役員の任期は、1 ヶ年とするも再選を妨げない。
- 3 任期中に役員が転勤、または病気等により会務に支障が生じ、本人より辞任の申し出があった場合には、理事会の合議で補充する事が出来る。補充する役員の任期は前任者の残任期とする。

(役員の行動)

第 8 条 役員、その他のもので会務のため行動した場合には、旅費を支給する。

- 2 旅費は交通費（公共交通機関の実費）、日当（500円）とするが、レクレーション等は対象外とする。
- 3 その他、食卓料（500 円）等は会長が必要と認めた場合には、支給することができる。

(総会及び理事会)

第 9 条 定期総会は、年 1 回開催し当日の出席会員をもって構成、議事は出席会員の過半数をもって決議する。

- 2 会長が必要と認めた場合には、臨時に総会を開催することができる。
- 3 理事会は、会長、副会長、事務局長、理事をもって構成し、会長が必要と認めた場合には、役員以外の出席を要請し、意見の聴取及び資料の提供等を求めることができる。

(会費及び会計)

第 10 条 会費は、年額一人 1,000 円とし施設単位にて 4 月末日までに納入とする。また、一旦納入した会費は返還しない。

- 2 会計は年 1 回以上の監査を受け、総会において報告する。
- 3 会計年度は、10 月 1 日から翌年の 9 月末日までとする。

(雑 則)

第 11 条 この規約の改廃は、総会において決議する。

(附 則) この規約は、平成 26 年 2 月 1 日より施行する。

平成 26 年 9 月 1 日一部改定

平成 26 年 10 月 25 日一部改定

東京地区会会員数（令和 2 年 4 月 1 日現在）

NHO 災害医療センター24 名

NHO 東京病院17 名

国立療養所多磨全生園 6 名

国立精神・神経医療研究センター病院17 名

国立がん研究センター中央病院66 名

計 130 名

年度	会員数（名）
平成 25	1 0 8
平成 26	1 1 7
平成 27	1 2 1
平成 28	1 2 8
平成 29	1 2 8
平成 30	1 2 7
令和 元	1 3 0